

質問・意見一覧

資料 4

NO	資料名	該当頁	項目名	質問・意見内容	回答	担当課
1	【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P4	教育・保育事業の総括評価結果	3号認定1～2歳児の保育量が、依然と見込みに対して大幅に下回っている。今後ますます増加することが予想されるが、どのように対応中なのか伺いたい。	量の見込みの動向に注視しつつ、計画に基づき、公立保育園の民営化による定員増により待機児童解消を解消を図ってまいります。 また、待機児童数が増加する状況であれば、さらなる確保量の増加を検討します。	保育課
2	【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P6	養育支援訪問事業	①昨年の資料（HP）には「H30年度（8人）は延べ105回導入できた」と書いてあったが、R1年度はどうだったのか。 ②予算額について、過去2年間と比べると見込み人数が同じなのに、なぜ減額したのか。「必要性は依然高く」と書いてあるのだから、実際には使わなくても、ここは減額すべきではないと思う。	①令和元年度の実績は、7人延べ112回導入しました。 ②この事業の必要性は今後も高いものと捉えていますが、問題を抱える家庭に公のサービスを導入することは容易ではありません。予算額と決算額の乖離を少なくするため実績を基に算出しましたが、養育支援訪問事業を必要とする家庭に対してすぐに導入することが可能な予算額を確保しています。	子ども政策課
3	【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P7	放課後児童健全育成事業（児童ホーム）	現場はかなり密な状態で、コロナ禍の中スタッフも命がけだと聞いている。広い小学校への移転で密状態を解消できるのなら、急がなければならないと思う。「検討、模索」などと悠長なことを言っている場合ではない。	「新・放課後子ども総合プラン」に基づき、児童ホームの小学校内への移転を推進しており、移転可能な小学校の空き教室等がある場合は、速やかに移転に向けた準備・調整を行ってまいります。 また、児童ホームでの密を緩和するため、小学校及びコミュニティセンターの空いている部屋を分散保育等で利用できるよう、引き続き関係部署・施設に依頼してまいります。	子ども育成課
4	【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P15	利用者支援事業(特定型)※保育コンシェルジュ	①初めて耳にしたので、HPで確認したが非常に良い制度だと思う。もっと大々的に宣伝し周知すべき事業だと思います。早急に検討してほしい。 ②有効性の基準②の評価が「4」ということは、成果を向上させる余地は十分にあるということだから、毎年「4」のままにしないで、なんらかの手を打つべきだ。	子育て情報誌『ぞまっぷ』をはじめ、子育て世代に対する広報活動を継続していくとともに、ネウボラとの連携や子育て支援センターへの出張など、活動を広げることで周知していきます。	保育課
5	【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P27	母子家庭等日常生活支援事業の推進	①「ニーズとのマッチングができない」というのは具体的にどういうことか。 ②「H30・R1年度0件」とあるが、困っている家庭がないわけではなく、相談できないだけだと思う。「急な困りごとにも対応」とあるのに、相談窓口時間や手続きなど、利用するまでのハードルが高すぎるように感じる。	①例示しますと、手術のために一週間程度預かってもらいたいという要望に対し、派遣を調整することができない等の状況を示しています。 ②日中に連絡することが難しい方等については、『お問い合わせフォーム』からでも連絡することができる旨の説明を、令和2年度からホームページ上に追加し、利便性の向上に努めています。	子ども育成課
6	【資料 1】 【資料 2】座間市子ども・子育て支援事業計画 総括評価報告書（案）	P29 ※資料 2	令和3年度特定教育・保育施設等の利用定員	3号認定0歳児の定員において、公立保育園が少なく、圧倒的に市立保育園に頼らざるを得ない状況は、今後改善されないのか。育休明けの1歳児についても同じ状況である。 一般的に、保育園に入れないから育休明けの1歳児についても同じ状況で、育休を早めに切り上げて保育園申し込みしたり、入園しやすい3歳児まで待たなければならない等、1歳児の希望は数値以上に多いように思われる。	保育園の入所可能人数は、保育室の面積、保育士の数により決まります。 現状の公立保育園では、保育室面積により保育可能人数に制限があるため、民営化による施設の建て替えにより定員増を図ってまいります。	保育課